

きずなの郷

第30号
2009 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成21年8月1日

目次

ひまわり荘が 厚生協会に	1
平成20年度事業報告	2
平成20年度決算報告	5
各施設から	
花見会	6
わかふじ寮	7
屈足わかふじ園	8
ひまわり荘	9
やすらぎ荘・ 新得やすらぎ荘	10
日帰りサービスセンターやすらぎ荘	11
新職員紹介	11
行事予定	11
ご寄附・ご寄贈	12



ひまわり荘が厚生協会に

養護老人ホームひまわり荘
佐藤 隆 明

本年度より養護老人ホームひまわり荘は、町の指定管理者から社会福祉法人厚生協会に移譲され、完全民営化となりました。

運営にあたっては、町が築き上げた功績を汚すことなく、より一層の改善や創意工夫に努めてまいります。

ひまわり荘の今年度の支援方針は、高齢者福祉の原点を忘れることなくより良い支援を探求することにあります。特に、利用者の立場に立った処遇改善やサービス向上など、基本的なことから力を入れて取り組んでまいります。

職員の資質が施設運営の善し悪しを左右しますので、専門職であることを自覚し、研鑽や自己啓発に励んでまいります。

利用者の皆さんは、自然とのふれ合いを好みますので、屋外ではホームゴルフ、池の観賞、散歩、花壇、野菜づくりなどを楽しんでいます。



現在のひまわり荘



ひまわり荘のホール



春には園庭いっぱいの桜がきれい

施設内ではテレビ鑑賞、音楽鑑賞、読書等をしてくつろぎ、カラオケ、書道、ぬり絵、レクリエーションなどの趣味活動も楽しんでいます。定期的に行う各種イベントには、お年寄りとは思えないような元気をみせてくださいます。老朽化した施設の移転改築も決まり、利用者の皆さんは、早期完成を待ち望んでいます。

平成20年度 事業報告

■法人本部

平成20年度は、障害者自立支援法の「施行後3年の見直し」の実施にあたり、一定の論議を経て、改正法案の国会提出や報酬改定など、制度改善・見直しが図られることとなった。このような状況の中、本法人として20年度中に大きな動きが2つあった。

1つ目には、「障害者自立支援基盤整備事業」、日本財団の補助金により、パン工房の増築及び備品の整備をはかった。

2つ目には、「ひまわり荘」改築に向けた検討委員会を立ち上げ、最終報告書を理事会に提案した。

- ・理事会（7回）、建設委員会（5回）、監事監査（4回）、評議員会（2回）
- ・役員研修（3回）
- ・顧問契約（松浦弁護士、富士道公認会計士）
- ・専門部会（管理部会、施設・在宅事業部会、就労センター部会、研修部会）

■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

平成18年4月に施行された障害者自立支援法が3年を迎える事から平成20年度は見直しを含めた対応に追われる年となった。

就労移行支援については、就職面接会等に参加するなど一般就労に向けた支援を行なったが、障害者の雇用は依然として厳しく、一般就労に結びつけることは出来なかった。

又就労移行支援は標準利用期間が2年の有期限事業となっており、平成20年9月末に期限を迎えた事から、わかふじ寮・わかふじワークセンターはそれぞれ1年の延長申請を行った。

利用者への支援の中心となる個別支援については、モニタリングを定期的を実施し、支援内容の見直しや確認を行うことが出来た。

支援の実施状況については継続支援の結果、改善されて計画を終了するものも見られたが、利用者の高齢化などの理由から、新たな支援が必要となるケースもあり、支援の長期継続や具体的な支援内容を見直すケースもあった。

【1】介護部門

- ・個別支援計画に沿って支援を実施しており、定期的にモニタリングを重ねながら進めた。

【2】就労移行部門

- ・日常生活の困りごと、福祉サービスの利用援助、就労に対する相談等の支援を行った。

【3】医療部門

- ・7月にミニ人間ドックを受診した。乳がん・子宮がん検診は8月に通所者、3月に入所者が受診した。
- ・11月にインフルエンザ予防接種を実施した。流行時期には早めに声かけをし、手洗い、うがいの徹底を行った。

【4】食生活部門

- ・冷蔵庫・温蔵庫を使用し、調理を配膳の直前に行うようにする等の対策を行った。

【5】地域交流・地域解放・関係団体との交流・広報活動

- ・毎週木曜日、職員が講師として参加し、手話サークルの支援を行った。又行事にも参加を呼びかけた。

【6】授産事業

- ・公共事業・補助金削減や資材高騰などの影響を受け、厳しい活動であったが、下方修正した目標金額は越えられた。

■聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘

老人福祉法及び関係法令及び通知の改正に基づき、利用者の自立支援の為のソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいをもてる健全で安らかな生活ができるように支援した。また、市町村などの関係機関と密接な連携を図った。

平成18年10月から養護老人ホームに関する制度の改正が行われ、当初は個別契約型としてサービスの提供を行っていたが、平成20年度は特定施設の指定を受け、要介護認定等を受けた入所者と契約を結び、特定施設入居生活介護型へ移行した。移行が混乱なく行われるように事前の準備と利用者への説明を行った。

【1】生活支援部門

個別契約でのサービスを提供して進めていたが、2月からは特定施設に移行し引き続き、より充実したサービス提供に努めた。また、毎月ケア検討会議を開催しサービスの適正化を図った。

【2】医療部門

- ・常に利用者の全身状態を把握し、異常時は担当医へ報告し、医療機関を受診した。
- ・看護師の夜間当番については専用携帯電話にてオンコール体制を敷き、緊急時の対応をした。

【3】給食部門

実際の食事を写真に撮って掲示したので以前よりも利用者に食事内容が伝わりやすくなった。選択メニューや行事食について利用者の嗜好を取り入れ、メニューに反映させた。

【4】地域社会との交流・広報活動

- ・新得神社祭りや敬老会等に参加した。また、11月2日には町民芸能芸術祭に手話の歌で参加した。

■ 特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

新得やすらぎ荘は、個人の尊厳を重視した質の高いサービスを提供するように努め、明るく家庭的な雰囲気を持ち、地域や家族との結び付きを重視した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者等の関係機関や他の介護保険施設又は医療機関との密接な連携を図った。

【1】利用者サービス全般

- ① 利用者との連携を図り、利用者とその家族との交流等の機会を確保するため、家族の面会時や広報誌、担当替えに合わせてのお知らせ等で利用者の近況を家族へお知らせした。施設行事への参加を促し、交流の機会を持った。
- ② 第三者評価を実施し、サービスの質の評価を行い、常にサービスの改善を図った。

【2】介護部門

- ③ 個別の関わりを大切にするため、各種行事やクラブ、個別の活動（友遊クラブ等）の内容を充実させ、利用者が明るく、楽しく、安心して日常生活が送れるように支援した。今年度から月に一度昼食に誕生会を開き、利用者の希望を取り入れた献立を提供するなど新たな行事の充実に力をいれた。また、利用者の要望に合わせ、買い物や散髪やドライブといった個別での対応を行った。
- ④ 施設で求められているターミナルケアの実践に向けて学習会を開催し、知識を深めた。
また、週に一度看取りケア会議を行い、各部門との連携を密に行うことができた。

【3】医療部門

時代に合った感染症予防のため、ノロウイルス、インフルエンザ感染予防は各部署と連携を図り、取り組んだ。又、新型インフルエンザの動向は研修会に参加し職員にも伝達又、予防に関わる非常用物資の備蓄をするなど対応に努めた。

【4】給食部門

栄養ケアマネジメント等については、利用者の身体状況を考慮し、利用者個々に調査し、ケアマネジャーと相談しプランの見直しや作成を行い、家族に同意をいただいていた。

【5】短期入所生活介護事業

緊急時の通院、利用者や家族のニーズに応え、1日ショートや体調不良時の通院（家族が対応出来ない場合）を行った。

■ 通所介護・介護予防通所介護事業所 日帰りサービスセンターやすらぎ荘

平成20年度においては、10人定員の短時間午後デイサービスを開始し、利用者の選択肢を増やすことにより、本人の意向に沿ったサービスが出来るよう支援体制を整えた。また、地域福祉を担う役割の一環として、認知症ケアの取り組みを開始した。認知症の予防・維持・改善を目的とし、くもん学習療法センターと契約を結び学習療法を取り入れた。

■ 訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

【1】高齢者サービス

利用者が望む在宅生活を送ることが出来るようにそのニーズを分析し、利用者が利用しやすい訪問事業所となるように一層の努力を行った。その利用者の有する能力が発揮できる対応を心がけ、関係機関との連携を密にとり、在宅生活の支援をした。

新たな取り組みとして特定指定施設やすらぎ荘とヘルパー利用契約を結び、特定指定施設利用者へのサービス提供を開始し、出来る限りのサービス提供を行った。

自家用自動車有償運送についても対象利用者より依頼を受け、外出支援を提供した。

【2】障害者サービス

様々な障害に対応できるような専門性が求められてきていることを受け、研修の充実を図り、事業所内研修や法人・施設内研修等に参加し、訪問介護員の職能の向上と均衡に努めたと共に利用者本位のサービス提供が出来るように取り組んだ。

■ 居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

年々、介護支援専門員に対する使命と責任が重くなり、より高度な専門性と職業倫理が求められてきている。これに伴い、居宅介護支援事業所新得やすらぎ荘では各自の自主研修も含め様々な研修会に参加し、事業所としての専門性の向上に努めた。また、医師及び各関係機関との連携を強化し、利用者や利用者家族のニーズを的確にケアプランに反映させていくように努めた。

■ 屈足わかふじ園

障害者自立支援法の施行により、報酬の日払化や利用者負担のあり方が大きくかわり、施設を取り巻く現状は厳しさを増しているが、個別支援計画に基づき利用者へのサービス提供に努めた。

【1】介護部門

- ・利用者個別の個別支援計画を作成し、定期的にモニタリングを行ない、生活支援に活用した。
- ・職員同士声を掛け合い、連携を密にして事故防止に努めた。またヒヤリハット報告書を活用し、大きな事故につながらない様、統一した意識を持って介助を行った。

【2】医療部門

- ・新型インフルエンザの対応策、予備知識把握の為、研修会に参加し、情報収集を行った。
- ・インフルエンザ予防接種を実施すると共に、加湿・換気・うがい等の徹底を図った。
- ・ノロウイルス対策として手洗い及び毎食前の消毒を徹底した。

【3】給食部門

- ・嗜好調査については随時行った。また給食会議に利用者の代表3名の出席を得て行った。
- ・セレクトメニューを週2回実施し、事前に聞き取りを行い、本人に選択してもらい提供した。
- ・行事食の際にポスターを作成し張り出すことで、利用者と食事についての会話の機会を作り、食育に努めた。

【4】リハビリ部門

- ・個別の訓練計画を立て、個別支援計画書に反映させた形で進めることができた。
- ・月2回、理学療法士とスタッフによる身体状況確認と訓練メニューの評価を行いながら進めることができた。

【5】生活支援部門

- ・入所前面接の際に説明を十分に行い、施設の情報を提供し、利用者や家族の理解を得て行った。
- ・利用者からの困り事や相談があった際には、随時受け入れ、個別に対応した。
- ・利用者間のトラブル等の苦情については支援員が仲介に入り、随時対応を行った。
- ・月1回、利用者懇談会を開催し、生活場面における意見や要望を聞き、互いに生活について考える機会を持たせた。
- ・在宅移行を望む利用者に対しては、個別に情報提供をし、手段や方法について説明してきた。

【6】防災関係

- ・避難訓練を2回実施し、そのうち1回は夜間を想定した訓練を行った。
- ・ビデオを利用した防災学習を行った。

■屈足わかふじデイサービスセンター

平成20年度の活動内容として、機能訓練では主にビデオ体操や食前体操を園利用者と共に行い、レクリエーションではボールやサイコロを用いた運動やホワイトボードを用いたゲームを行い、園利用者と共に参加して交流を深めた。創作的活動は手指の機能が使える利用者が少なく、実績には至っていない。

全体的な利用状況として、昨年度に利用中止者が1名おり、開所日数も1日少なかったが、延べ利用者数が昨年度より4名増加(計135名)であった。

■養護老人ホーム ひまわり荘

【1】利用者サービス

- ・職員会議(月1回)処遇会議(適宜)、介護員ミーティング(月1回)を開催し職員の意識を統一するようにした。
- ・ひまわり会等を通じて利用者へ意見の確認や説明を行い同意の下でサービスを行うようにした。

【2】個別援助

- ・外出の希望が多かったため天候のよい日は散歩に出かけるようにした。8月からは週2回散歩の日を設けた。業務の関係で週1回の時もあったが、定期的に行うことが出来た。
- ・町内の外出は、個々の要件に応じ、希望にあわせ可能な範囲で送迎を行うことができた。

【3】健康の維持増進

- ・朝は必ず居室を訪問し、健康状態の把握を行った。
- ・全身状態の把握を行い、異常時は嘱託医と連携を図り対応した。
- ・インフルエンザ予防接種を11月27日に実施した。
- ・11月～3月にインフルエンザ、ノロウイルス感染予防のうがい、手洗いの励行を行った。

【4】家族との連携

- ・6月に家族との交流会を行い、利用者が家族と一緒に食べ、交流を行った。

【5】生きがいのある生活

- ・芽室菖蒲園見学後、外食、買い物を行った。
- ・一泊旅行、日帰り旅行を実施した。

【6】食生活

- ・月1回給食会議を実施した。4月、5月は職員のみだったが6月からは利用者も参加して頂いた。
- ・時間変更については、食事委員会で検討し、昼食を11時30分から12時、夕食を17時から17時30分に変更し21年度から実施できるように調整した。

◎特定施設入居者生活介護事業所

- ・介護サービスが必要な方、ご本人の希望があった場合は、本人、家族と相談のうえ、処遇会議を開催しサービス内容の検討を行った。

■訪問事業所 ひまわり荘

【1】利用者サービス

- ・ケアプラン、訪問介護計画書に基づいて、利用者の状況を把握、職員間で連携し、サービスの提供を行った。
- ・課題や問題点を把握し、必要に応じて検討会議を行った。

【2】介護予防サービス

- ・自立支援に向け本人の能力に応じた援助が行えるよう支援した。

【3】個人情報の管理

- ・業務に係るすべての個人情報の管理の徹底に努めた。

平成20年度決算報告

平成21年3月31日

財産目録

(単位：円)

資産の部		金額
科目	摘要	
流動資産		530,590,985
固定資産		3,241,009,500
資産合計		3,771,600,485
負債の部		金額
科目	摘要	
流動負債		70,141,251
固定負債		358,508,733
負債合計		428,649,984
差引正味資産		3,342,950,501

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	530,590,985	流動負債	70,141,251
固定資産	3,241,009,500	固定負債	358,508,733
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	1,826,248,427
		その他の積立金	299,803,863
		次期繰越活動収支差額	1,202,398,211
資産合計	3,771,600,485	負債純資産合計	3,771,600,485

事業活動収支計算書

科目	金額
介護保険収入	370,216,704
利用料収入	92,125,821
措置費収入	259,242,669
その他の事業収入	162,141
自立支援費等収入	517,099,645
補助事業等収入	2,627,107
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	9,270,870
雑収入	9,510,894
借入金元金償還補助金収入	19,330,000
借入金利息補助金収入	3,123,792
経理区分間繰入金収入	110,629,107
受取利息配当金収入	1,245,659
授産事業収入	124,231,779
施設整備等補助金収入	34,519,000
補助金等特別積立金取崩額	56,877,737
収入合計	1,610,212,925
人件費支出	718,825,619
事務費支出	155,404,453
事業費支出	229,021,199
借入金利息支出	5,476,240
経理区分間繰入金支出	110,629,107
授産事業支出	129,526,606
その他の支出	0
国庫補助金等特別積立金積立額	30,925,000
引当金繰入	13,648,520
減価償却費	82,759,834
固定資産処分損	0
支出合計	1,476,216,578
当期活動収支差額	133,996,347
前期繰越活動収支差額	1,116,024,199
その他の積立金取崩額	12,677,665
その他の積立金積立額	60,300,000
次期繰越活動収支差額	1,202,398,211

資金収支計算書

科目	金額
介護保険収入	370,216,704
利用料収入	92,125,821
措置費収入	259,242,669
その他の事業収入	162,141
自立支援費等収入	517,099,645
補助事業等収入	2,627,107
経常経費補助金収入	0
寄附金収入	9,270,870
雑収入	9,510,894
借入金元金償還補助金収入	19,330,000
借入金利息補助金収入	3,123,792
経理区分間繰入金収入	110,629,107
受取利息配当金収入	1,245,659
授産事業収入	124,231,779
施設整備等補助金収入	34,519,000
固定資産売却収入	0
積立預金取崩収入	12,677,665
収入合計	1,566,012,853
人件費支出	718,825,619
事務費支出	169,052,973
事業費支出	229,021,199
借入金利息支出	5,476,240
経理区分間繰入金支出	110,629,107
授産事業支出	128,361,127
流動資産評価減による資金減少額	0
積立預金積立支出	60,300,000
借入金元金償還金支出	27,970,000
固定資産取得支出	46,611,996
投資有価証券取得支出	0
予備費	0
支出合計	1,496,248,261
当期資金収支差額	69,764,592
前期末支払資金残高	390,685,142
当期末支払資金残高	460,449,734

さくら満開!! お花見で舌づつみ

(わかふじ寮)

～家族会総会には19家族が参加～

5月9日(土)に、家族会総会と、花見が開催されました。19家族37名の参加があった総会では、田中常務が自宅近くで育てている桜の苗木を、もう少し大きくなってから希望者にプレゼントしたいという話に、ご家族からは「今すぐほしい」という声もありました。

その後に行われた、やすらぎ荘と合同の花見では、天候にも恵まれ、ちょうど満開となった桜を見上げて、利用者からも「きれいだね」との声が聞かれ、桜の花びらが舞う中で、恒例のジンギスカンをおいしくいただきました。



ふるさとの集い
「おいしい!」ビールが足りなくなりました

きれい! おいしい! 合同花見

(やすらぎ荘・新得やすらぎ荘)

5月9日、やすらぎ荘横のいこいの広場で、わかふじ寮との合同の花見が行われました。天候にも恵まれ、外でのジンギスカンを楽しみました。

桜は散りかけていましたが、風に桜の花びらが舞っていて、この季節ならではの景色を楽しむことが出来たと思います。ジンギスカンの中に花びらが舞い込んでくる一幕もありました。

普段はあまり外に出ることがない方も、屋外でのいつもと違う開放的で賑やかな雰囲気の中で食もすすんだようです。花見中も終わってからも、「おいしかった」「お腹いっぱい」「桜、きれい」などたくさんの笑顔が見られました。

青空の下で焼き肉!

(屈足わかふじ園)

5月8日に花見食事会を行いました。去年は天候に恵まれず食堂で行いましたが、今年は気温が24度と高く、快晴で風もなかったため、駐車場で桜を見ながら行うことができました。

当日は11家族19名に参加していただきました。炭火で焼いた牛肉やウィンナー、職員が採ってきたアイヌネギ等の花見らしい食事がふるまわれ、利用者や家族にも好評で「美味しかった」という声が多数聞かれました。

いつもとは一味違った雰囲気の中で食事を摂ることができ、利用者・家族・職員共々楽しい一日を過ごしました。



「お肉美味しい! 最高!」

晴れて良かった

(ひまわり荘)

5月16日(土)ひまわり荘のお花見会が行われました。去年は桜が全くなかったのですが、今年は少し桜が残っており、暖かい天候の中、佐幌長生クラブ4名の方と一緒に、ジンギスカン、牛サガリ、チャンチャン焼きを食べました。

メニューはどれも好評で、利用者から「美味しい、美味しい」との声が聞かれ、皆さん、おなかいっぱい食べられました。

満腹になった後は、恒例のカラオケを行い、利用者と、佐幌長生クラブの方が交代で歌われました。今年は職員も1曲歌い、利用者が踊り、最後に理事長も歌って盛り上がり、楽しいお花見会となりました。



「外での焼き肉最高」

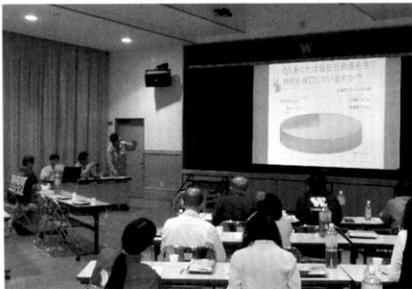
「室内でもジンギスカン美味しいよ」

より良い施設を目指して ～QCサークル活動発表会～

「利用者に対する、より良いサービス提供」「授産におけるコスト削減」等の業務改善を目的とし、平成11年度より行っているQC（Quality Control=品質管理）活動は、今年で10年目となります。

今回は、5つのグループが「決算期に集中する事務量減への対策」「資源ゴミの有益化」「刃物研磨の見直しについて」「備品の管理と整理整頓」「各職員間の作業をスムーズに行うようにするには」をテーマに活動した結果発表がなされました。忙しい業務の合間をぬっての活動に対し、全てのグループが努力賞となりました。

今年度もメンバーを新たに組み替え、「利用者の質の高い満足」「コストダウン」を基本テーマに、各グループがすでに活動を進めています。



発表会（5月1日）の様子

花あふれる町へ ～国道38号線環境美化活動に参加～

新得町が主催で行っている国道38号線環境美化活動に、今年度初めて、わかふじ寮職員有志で参加することになりました。

6月3日の植栽日は天候にも恵まれ、町内の約30団体がそれぞれの担当花壇に手際よく花を植えていました。わかふじ寮からは11名が参加し、真ん中にぽっかり空いたスペースに「トマトを植えよう」「ラベンダーはどうか」「ミニひまわりがかわいい」などと話しながら作業を終えました。

10月中旬の撤去日まで、約2週間ごとに除草や花がら摘みを行う予定です。



看板はわかふじ製

ようこそ ～わかふじ寮に新しい利用者入所～

2月に吉田明さん、3月に高木延さん、4月に西村武流さんがわかふじ寮に入所されました。



吉田 明さん

昭和56年生まれの27歳。

・20歳の頃に視力を完全に失いましたが、ウエス作業に取り組み、洗濯なども自ら行います。



高木 延さん

昭和35年生まれの49歳。

・サッシや土木関係の仕事をしていた経験があり、工場では注文家具製作の補助を行っています。



西村武流さん

平成3年生まれの18歳。

・北海道高等ろう学校を卒業したばかり。トーマスやパソコンが好きな唯一の10代です。

利用者の皆さんの思い ～利用者との懇談会～

6月20日（土）、利用者との懇談会が行われました。毎年12月に年1回のペースで開かれていましたが、利用者の皆さんの声を、より良い施設作りに反映させたいとの思いもあり、今年度から年2回実施することになりました。

今回の懇談では様々な意見が出され、早急に各担当で解決策を検討しているところですが、今回挙がった意見には、「5人で入ると風呂場の排水溝が詰まる」「工場の掃除機が壊れている」等がありました。意見の中には、職員に伝えることですぐに解決できるものも多くあり、懇談会を待たずに職員に伝えていただけるようお話しして、約1時間の懇談会を終了しました。



皆さん 真剣です

いろんな髪型を楽しんでいます ～美容室ルッコラ来園～

屈足わかふじ園では、昨年12月より月1回程度で帯広市の美容室「ルッコラ」さんにお越しいただき、パーマや毛染めを希望する利用者に提供していただいております。

普段おしゃれをしたくても、なかなか外出が難しい利用者ですが、パーマなどをする機会が増えたことで大変喜ばれています。中にはこの髪型・この髪の色にしたいとファッション雑誌を持参して頼む方もいて、毎回来られるのを楽しみにされているようです。



「今日の髪型は、これをお願いします」

欲しい物が買えました ～買い物外出～

5月20日に利用者3名と職員3名で、イトーヨーカドーへ出掛けました。当日は天候にも恵まれ、まさにドライブ日和で、道中も外の景色を見ながら会話が弾みました。

利用者は外出前から購入する物を考えており、また行った先々でも希望する物を購入したり、昼食もそれぞれが好きなメニューを注文し食べることができ、とても満足されたようです。

今年度1回目の外出行事であり、今後も利用者の希望される場所へお連れする予定です。



イトーヨーカドー前でピース！

生演奏に興奮！！

(屈足わかふじ園、ひまわり荘)

～帯広芸術祭ジョイントコンサート～

5月22日に帯広市民文化ホールで行われた芸術祭ジョイントコンサートに招待を受け、屈足わかふじ園から利用者2名と、ひまわり荘から利用者12名が参加しました。

コンサートではハープや木管楽器の優しい音色に心が癒され、聴きながら涙ぐむ場面もありました。また、ラテン・ジャズ・歌謡曲などの生演奏では、迫力あるステージに参加した利用者も一緒に歌いながらノリノリ(!?)の様子でした。曲の途中でボーカルの方が客席まで来られ、利用者と一緒に握手をし、さらに盛り上がりました。

最後には全員で「世界でひとつだけの花」、他1曲を歌い、楽しかったコンサートが終わり、帰り際の玄関でボーカルの方と一緒に記念写真を撮り、文化センターを後にしました。



「ご招待ありがとうございます」



ボーカルの方とハイチーズ

手話の歌と一緒に唄いました

～屈束手話の会訪問～

5月25日に屈束手話の会のメンバー10名が来園され、手話の歌を披露して頂きました。

毎年この時期にお越し頂いており、今回は「ふるさと」や「野に咲く花のように」等3曲を披露して頂きました。特に「ふるさと」ではメンバーの皆様全員がステージを降り、利用者と一緒に手話を交えながら歌を唄って頂きました。

終了後、メンバーのお見送りされていた利用者にお聞きすると多くの方が「楽しかったので、また来てほしい」と話されていました。



「野に咲く花のように」披露中

家族と一緒に盛り上がった ～家族交流会～

6月27日(土) ひまわり荘で家族交流会が行われました。社協の会長古川盛様を招き、御家族19名も参加され、「お手玉ボン」、「狙ってゴルフ」、「缶トリーロード」などのゲームを行いました。男性職員がコスプレメイクをする「着替えましょう」が1番の盛り上がりを見せ、パニーガールとパーティードレスに着替えた職員と施設長をご家族の方が真剣にメイクアップ!!

結果は白組の圧勝となりましたが、なかなかの接戦で今年も白熱した交流会となりました。



「こんなに綺麗でいいのかしら??」

「なかなか難しいんだよなあ」

またひとつ思い出が増えたね ～誕生会～

6月19日、6月生まれの方の誕生会を行いました。

今月お祝いされる誕生者は、97歳、92歳、82歳、73歳と皆さんとても元気な方ばかり。たくさんのお菓子やジュース、ケーキを食べながら、誕生者にお祝いの一言を加えてのカラオケをしたり、昔話をされたりとお茶会の様な雰囲気で行われました。誕生者の中にはアカペラで歌を披露される方もいらっしゃいました。月末には誕生者の皆さんで夕食の予定もあり、皆さん心待ちにしています。



誕生者の方々はいいポーズ

これから誕生会の始まりです

あいにくの雨で ～春のピクニック～

あいにくの天候の為、春のピクニックは中止となり室内で映画鑑賞とミニバレーが行われました。映画は、「手袋を買いに」「新得町の記録映画」の二本。皆さん真剣に見入られ、途中、飲み物等を配るものはばかられるほど。椅子に座ってのミニバレーでは、皆さん年齢を感じさせない動きで、職員顔負けのボールさばきで、とても楽しまれていました。



真剣に映画を見ています



「よいしょっ」

おいしかったよー ～山菜採り～

6月2日にひまわり荘では初めての試みである、山菜採りに利用者と一緒に出かけました。普段外出されない方も、昔を思い出し「山菜採りなら行きたい」と言われ、みなさんとても楽しみに待っていました。

当日は晴天で、はりきって山菜を採りに出発しました。みなさんとても一生懸命で、時間を忘れるぐらい、無我夢中で採っていたので、うど、ふき、ごごみ、わらび、三つ葉など、職員が想像していた量よりもたくさん採れました。午後からは、山菜採りに行かなかった利用者の方も、「山菜の皮むきならする」と言って手伝って頂き、「昔はよく山菜の皮をむいたよね」と昔話を花を咲かせながら皮むきを行いました。採れた山菜は、みそ汁、煮物、和え物などに調理され、利用者の食事として出され、「採ってきた山菜は美味しいね」とお話ししながら食べられていました。



採ってきた山菜の皮むき「美味しそうだな」



皆さん一生懸命皮むきしています

たくさん食べたー ～町外遠足～

5月22日(金)利用者12名と職員5名で町外遠足に出發!

芽室の羽衣亭に行き、お腹いっぱい美味しく食べ、最後にデザートを食べられた方もいて、久しぶりの回転寿司を堪能されました。その後、芸術祭ジョイントコンサートを観に帯広文化センターへ。コンサートを楽しんだ後は、芽室のダイイチへお買い物に行きました。

利用者の方は、いつもと違うお店での買い物を楽しみ、おかしや果物等を買って楽しい町外遠足が終わりました。



「回転すし美味しかった」

はじめてがたくさん ～日帰り旅行～

段々と初夏らしくなり、新緑がまぶしい6月中旬、日帰り旅行に出掛けてきました。今回は5つのグループを作り、行き先を池田町のまきばの家と芽室町のダチョウ牧場に分け、少人数でゆっくりと楽しむことが出来ました。



「たくさん飲んでね～」

まきばの家では犬が羊の群れを追うシープドッグショーを見せて頂き、かわいらしく賢いわんちゃんの姿に歓声が上がっていました。他にも羊の毛刈りを見せて頂いたり、子羊にミルクをあげるという体験もでき、「はじめてあげた」という声がきかれました。

ダチョウ牧場では、人間よりも大きいダチョウを間近で見ることが出来たほか、七面鳥や烏骨鶏などにも触らせていただき、雛を抱くことも出来ました。こちらでも「はじめて触った」と嬉しそうに話す利用者の姿が見られました。



「七面鳥って不思議な感触だなあ」

どちらのグループも最後に音更のスーパーに寄って、ソフトクリームを食べ、お土産を購入し満足して帰荘されました。今後も外出や行事などを通して色々な「はじめて」を体験して頂きたいと考えています。

はじめての来荘に大感激 ～虹のキャラバン来荘～



ものまねで会場を沸かせた吾代健十さん

6月26日に社団法人虹の会の虹のキャラバンが、初めてやすらぎ荘に来荘しました。

虹の会はプロの歌手の方が在籍しており、これまで22年間で全国3800ヶ所を回り、各地で歌やものまねを披露している団体です。

この日の会場にはやすらぎ

荘の利用者の他にデイサービス・屈足わかふじ園・ひまわり荘の利用者などたくさんの方が集まりました。

歌では皆さんがよく知っている美空ひばりなどが披露され、歌手の方が歌いながら利用者全員と握手して回って下さり、ものまねでは手作りの小道具で淡谷のり子や北島三郎などを楽しくまねて会場を沸かせていました。

皆さんはプロが歌う素敵な歌に合わせて手拍子を打ったり、趣向を凝らしたものまねで笑ったりととても楽しまれていました。感激のあまり泣いてしまう人がいるほど盛り上がり、本当に楽しい一時でした。



「今日はありがとう」
島ゆかりさんとパチリ

ありがとう隊員さん ～鹿追自衛隊ボランティア来荘～



どんどんキレイになっていきます

今年も鹿追自衛隊の皆さんのご厚意で、4月30日に施設外周辺の整備等を行って頂きました。

風が強く吹いている日でしたが、9名の隊員さんが汗を流しながら一生懸命に作業して下さいました。花壇の整地や施設前の清掃をして頂いた他、3月に切った防

風林の枯れ木も東ねて頂きました。隊員さんに作業して頂いたお陰で施設の周りがかれいになり、利用者の皆さんも気持ちよく生活でき、畑仕事の好きな方は整備して頂いた花壇での作業を楽しんでいます。

今年もご多忙の中お越し頂きまして本当にありがとうございました。



すてきな笑顔の隊員さん

優雅なダンスにうっとり ～フラダンスサークル来荘～



ゆったり南国気分～♪

4月22日、新得町内のフラダンスサークル「マカナ・ラニ」が来荘し、「赤いレイ」等のハワイアン曲目を披露して下さい、デイホールがゆったりとした南国の雰囲気に包まれました。

フラダンスサークルが来荘するのは初めてということで、皆さん興味深げに観賞され、指先まで優雅なダンスと色とりどりの華やかな衣装に見とれていました。

観賞後、素敵なダンスに癒されたのか皆さん笑顔で戻って行かれていました。特に女性利用者が喜んで下さり「とてもきれいだった」とダンスをしながら、職員に笑顔でお話して下さいました。

盆踊りや民謡が好きな方が多いですが、なかなか見る機会のないフラダンスを観賞していつもと違った一時を楽しむことが出来たようです。



おそろいの衣装もすてきですね

外での食事も美味しいね ～町内外食～

雪が解け、暖かくなりました。「たまには外で食事がしたい」と利用者より声があり、4月26日に石松、5月26日・6月2日にみなとやに町内外食へ出掛けました。いずれも天候が良く、外食日和となり、石松15名、みなとや20名（2日間）の参加がありました。

石松では生ちらしやうどんを、みなとやではそばと天丼・豚丼等とそれぞれ好きな物を注文され、皆さんとても美味しく食べていました。普段はなかなか出来ないデイサービス仲間との外食とあって、いつにも増して楽しい会話がきかれ、外食を満喫されたようでした。「また行



写真とるよ「ハイ、エービ



「あなたも どう？美味しいわよ！」

きたい」との声もあり、今後も利用者からの要望に合わせて、企画を立てて実施していきたいと思えます。

4月より移転しました (ミニデイサービス)



ゆったりと過ごせる空間

午前と午後に短時間の日帰り介護サービスを行っているミニデイサービスが、本年4月より3月末日で閉園した託児施設（旧たんぼぼ園）へ場所を移すことになりました。

事務所を切り離して単独の建物でサービスを提供する事で、今まで以上に家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごしてもらおう事ができるようになっています。

利用されている皆さんも環境が変わった事で、気分もリフレッシュされた様子です。

事業所も新しくなり、今年は畑で採れた野菜での家庭料理や、わかふじ寮より講師を招いてパズル作りをする等、新しい取り組みも予定しています。

これから新しい取り組みを追加し、利用される方に喜ばれるサービスを目指していきます。



大好きなパズルに真剣



「きれいに塗れているでしょ！」

新職員紹介

【わかふじ寮】

- ・ 2月採用 看護助手 鈴 永 和 子
- ・ 4月採用 職業支援員 加 藤 優 平

【やすらぎ荘】

- ・ 4月採用 支援員 上 田 奈々恵

【新得やすらぎ荘】

- ・ 2月採用 看護師 岩 間 由美子
- ・ 4月採用 介護員 宮 川 大 将
- 介護員 小 林 みはる
- 介護員 原 田 亜里紗
- 事務員 大 瀧 展 生

【日帰りサービスセンター】

- ・ 4月採用 生活相談員 森 理 美

【屈足わかふじ園】

- ・ 4月採用 介護員 河 上 可 奈
- 介護員 黒 田 未 来
- 介護員 西 岡 潤 希
- 介護員 矢 柳 美土里

【ひまわり荘】

- ・ 4月採用 栄養士 福 井 絵梨子
- 介護職員 佐 藤 さや夏
- 介護職員 覚 張 伶 香
- 支援員 江 崎 ゆかり

行事予定

【わかふじ寮】

- 8月12日 (水) 夏季休暇～16日 (日)
- 9月12日 (土) 合同運動会
- 9月19日 (土) 家族会研修旅行～20日 (日)
- 9月20日 (日) 全道ろうあ者大会
- 10月 3日 (土) 文化祭
- 12月20日 (土) クリスマス昼食会
- 12月28日 (月) 感謝の集い

【やすらぎ荘・新得やすらぎ荘】

- 8月 七夕・花火大会、外食 (特養)
- 9月12日 合同運動会、帯広買い物外出 (特養)
- 秋の味覚祭
- 10月 施設内ゲーム大会 (特・養)、一泊旅行 (養護)
- 11月 鍋の会、帯広外出 (養護)、長寿の祝い
- 12月 クリスマス会、もちつき

【屈足わかふじ園】

- 8月 7日 夏の夕べ・花火大会
- 8月29日 きずなの郷まつり
- 9月11日 御神輿・新得音頭パレード
- 10月 避難訓練、秋の味覚祭
- 12月24日 クリスマス会

【ひまわり荘】

- 8月 8日 夏祭り 2009
- 9月 秋のピクニック、一泊旅行
- 12月 クリスマスの集い、餅つき、年とり

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

平成21年3月から平成21年6月まで（敬称略）

<本部>

新得町 山本 洋
 苫小牧市 牧野 武司
 千葉県佐倉市 秋山 昭

【わかふじ寮】

新得町 小川コユキ
 菅原 武夫
 太田 義則
 川崎 勉
 標茶町 千葉 勲
 大山 敏宏
 日高町 藤沢 英明
 苫小牧市 木村 忠信
 別海町 水沼 和子
 札幌市 坂口 和成
 境 幸子
 平田 敬一
 佐々木芳子
 秋田県 横山 繁
 岩見沢市 佐藤 陽一
 深川市 須田 有俊
 芽室町 後藤 幸雄

【やすらぎ荘】 【新得やすらぎ荘】

新得町 岡本 昌子
 千葉 玄昭
 小川 コユキ
 岡村 ミツ子
 松田 桂次
 太田 町子
 玉川 一夫
 清水 百合子
 屈足ディスコダンスの会
 フラダンスの会
 佐藤 良一
 久保島 真智子
 伊藤 トシ子
 札幌市 佐藤 幸子
 長谷川 武夫
 旭川市 秋田 雅憲
 安田 美津子
 吉田 国男
 帯広市 大村 真弓
 佐藤 八千代
 川崎市 鈴木 悦子
 上湧別町 川村 寛
 当麻町 山口 和子
 美瑛町 堀川 静香

【屈足わかふじ園】

新得町 千葉 玄昭
 八木ツル子
 金田 文子
 小川コユキ
 玉川菓子店
 佐藤 茂光
 丸田ひろ子
 矢萩 節子
 屈束手話の会
 結城 安蔵
 浦地 芳江
 川口アキノ
 屈足旭町有志
 帯広市 伊藤タミ子
 荒井 洋子
 柳澤 秀一
 音更町 宮路 禮子
 上士幌町 高谷 富子
 芽室町 藤澤 三夫
 旭川市 橋本 弘

【ひまわり荘】

帯広市 梨本 敏美
 三輪 ミツ子
 片山 敬子
 音更町 後藤 弘晃
 芽室町 佐々木 路子
 清水町 森田 ツヤ子
 赤堀 愛子
 新得町 社会福祉協議会
 岡部 友子
 古川 真理
 中谷 和彦
 中平 清子
 札幌市 赤松 正憲
 稚内町 鈴木 義勝
 新潟市 太田 和正
 群馬県 田嶋 敏之

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

(ペットのおやつ) ブログ

<http://blog.campan.info/wakafuji>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)

wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)

yasuragi@rainbow.ne.jp (やすらぎ荘)

himawarihome@ivory.plala.or.jp (ひまわり荘)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編集後記

今回初めてひまわり荘が広報の事務局を担当しました。頑張りましたが如何でしょうか？

6月は雨が多く外に出かけられなかった分、夏の行事を満喫したいと思います。

今回は道産材のカラマツを使ったオリジナル商品「カラマツクラフト」の一部をご紹介します。

<BROCK ペン&クリップ> 840円

サイコロ状の木片に、熊の手形(足型?)を模った4つの穴と皿状の溝を掘り、穴にはペンを溝にはクリップを置くステーションリーグッズです。溝の中央には強力な磁石が埋め込んであるので、たくさんクリップを置いて大丈夫(置き過ぎ注意!)



<ちょっと腰かけ> 6,300円

ちょっと座りたいとき、ちょっと高いところに手が届かないとき、ちょっとお花を飾りたいときに便利な多目的なイスです。ちょっとしたプレゼントにもぴったりです。



<ミルクスタンド>

(大) 1,260円 (小) 1,050円

葉っぱのモチーフがポイントのミルクスタンドです。サイズは大・小あり、小さなパックでも大丈夫です。ペンを立てたり、他の用途でも使えます。



<ブックスタンド> 2,100円



まあいフォームで柔らかな雰囲気ブックスタンドです。ノックダウン(組立て)式でコンパクトになっているので記念品や贈り物にも。

お問い合わせは営業：高橋まで。